



2025年8月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ ッ ク ラ ン ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 笠 原 弘 和
(コード番号：9612 東証プライム)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 C F O 坂 本 寛 樹
兼コーポレート統括本部長
(TEL：03-3377-9331 (代表))

中期経営計画策定の進捗状況に関するお知らせ

当社は、2025年12月期の決算発表の時期を目途（2026年2月頃）に当社連結の中期経営計画の公表を予定しており、策定を着実に進めております。投資家の皆様に中期経営計画の内容をいち早く公表することは、投資判断に資すると考えておりますものの、当社は構造改革の途上にあり、当社連結の中期経営計画の内容については将来の不確実性を十分に加味しつつ慎重に検討を行う必要があるとも考えております。そのため、中期経営計画の公表に先立ち、当社連結の主たる会社である当社単体の中期経営計画の概要を、本日開催の当社取締役会にて決議しましたため、下記のとおりお知らせします。

記

1. 中期経営計画策定の進捗状況をお知らせする理由

当社は、2024年8月30日に開催した第54回定時株主総会において取締役10名のうち9名が新任となり、その新経営体制の下、2026年2月頃の当社連結の中期経営計画の公表に向け策定作業を進めるとともに、収益性の改善を進めており、2025年12月期第2四半期（中間期）においては、連結売上高、連結営業利益及び連結経常利益について期初連結業績予想を上回り、堅調な成果を残すことができました。

その中で、利益還元方針については、株主優待制度に代えて配当を充実させる方向を打ち出し、中期経営計画の策定と合わせて具体的な配当方針を検討中でありましたが、この度、中期経営計画のうち、当社単体部分の骨子がまとまったため、当社連結部分に先立って配当性向の計画を含め中期経営計画の策定の進捗状況をお知らせすることといたしました。

2. 中期経営計画策定の対象となる期間

2026年12月期 ～ 2028年12月期 （自 2026年1月1日 至 2028年12月31日）

3. 今後の見通し

今回、お知らせしました内容は、当社単体における中期経営計画の骨子の一部となり、2026年2月頃を目途に当社連結の中期経営計画を正式に公表する予定となります。

なお、当社は、2024年2月14日開催の当社取締役会にて設置を決議した特別調査委員会による調査、過年度訂正及び改善措置支援等のための外部専門家費用等に係り、当社代表取締役社長（当時）を含む当社元取締役（監査等委員を含む）に対する責任追及を行っている最中であり、その責任追及及び賠償請求の進捗具合によって、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく左右されることから、2025年12月期通期の連結業績予想のうち、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益を引き続き未定としております。この業績予

想に係り、2025年12月期の配当予想を引き続き未定としております（この一連の費用に係る賠償金額についての経緯と状況は、2025年2月14日付で公表した適時開示「(差替)「東京証券取引所への「改善状況報告書」の提出に関するお知らせ」の差替について」をご参照ください。）。

以 上



株式会社ラックランド（単体）

中期経営計画

2026年12月期～2028年12月期

本資料において、注記がない限り、
内容・数値はすべて単体ベースで記
載しています。

株式会社ラックランド 証券コード：9612

1. 中期経営計画の基本方針と重点テーマ

当社の企業ミッションを念頭に、2026年～2028年の3年間を通じて、重点テーマを段階的に推進する。

企業ミッション：商空間創りを通じ、皆の笑顔を作り出すこと

2026年

2027年

2028年

透明性と誠実さを大切にし、持続可能な社会の実現に貢献する空間価値創造企業

企業活動のあらゆる場面で「透明性」と「誠実さ」を大切にし、サステナブルな社会の実現に貢献する。

笑顔と豊かさを生む空間価値創造企業

社会や顧客のニーズにあわせて、空間に新たな価値をもたらし、「笑顔」と「豊かさ」を生み出すために、さらなる品質向上と営業力の強化に取り組む。

私らしく働ける、成長できる空間価値創造企業

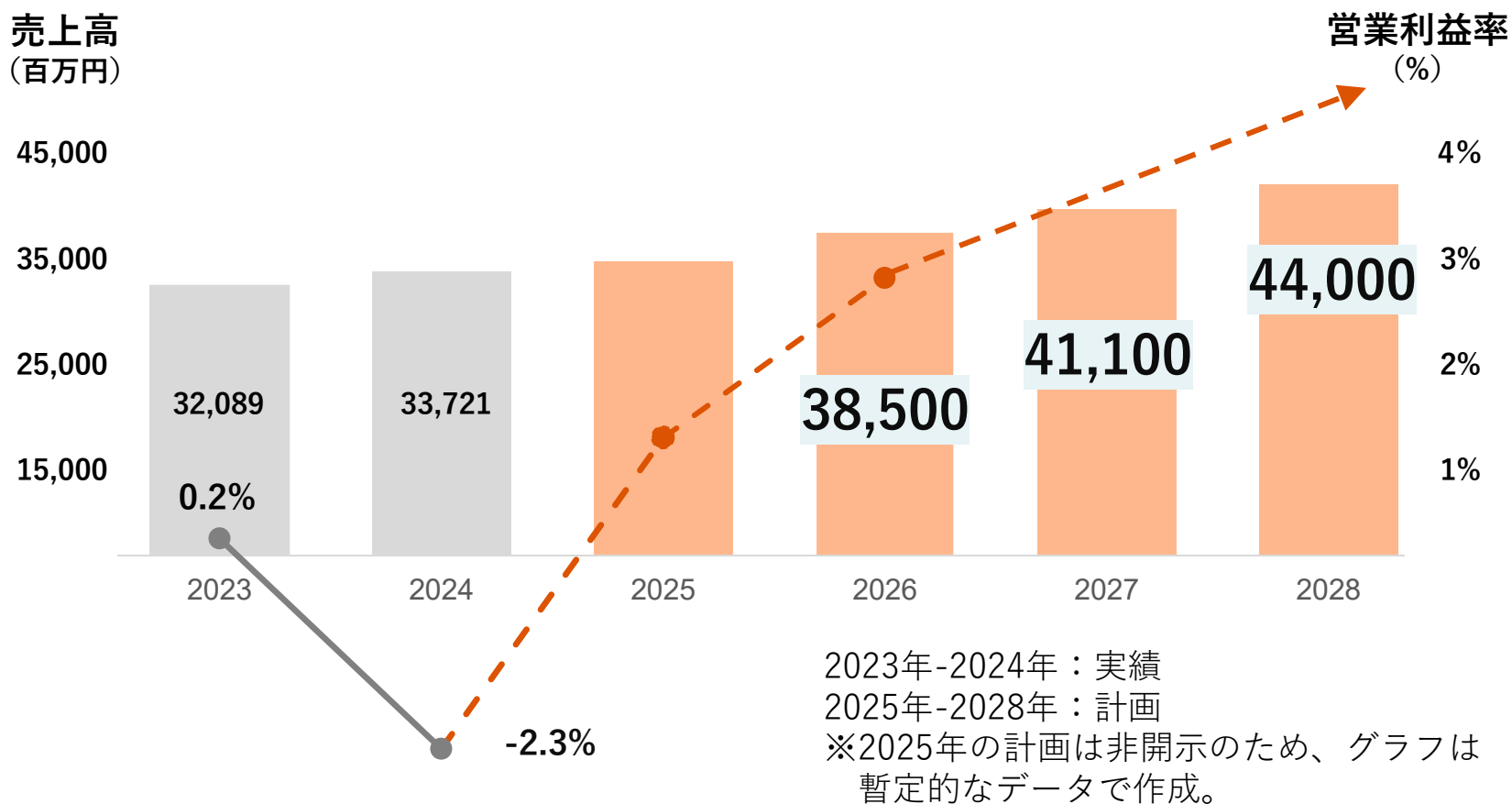
社員一人ひとりが「自分らしく働ける」組織文化の醸成を図り、社員と企業がともに成長できる環境を創る。

※各テーマは複数年度に渡り継続

2. 財務目標（売上高・営業利益率）

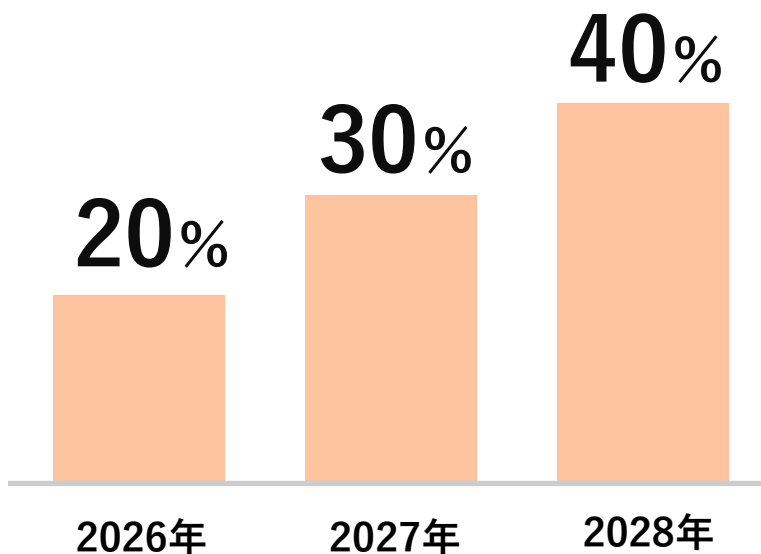
- 2026年以降はマーケットのさらなる開拓に注力し、成長を加速させる。
- 売上高の成長に伴い、営業利益率については3.3%を下限とし、それを上回る水準の達成を目標とする。

売上高・営業利益率



2026年以降、利益の拡大と株主還元の両立を通じて、持続的な企業価値向上を実現する。

連結配当性向



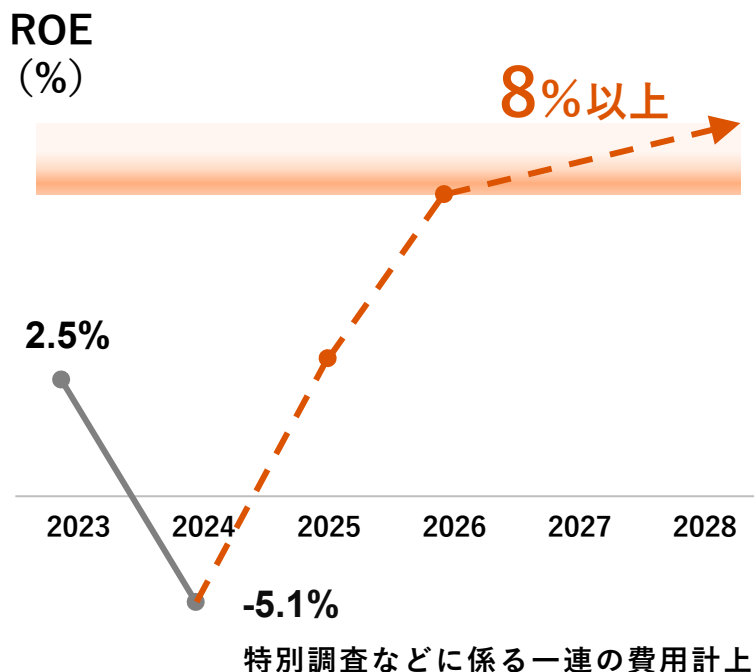
株主への還元の強化

安定的な利益成長と財務基盤の健全性の維持を前提としつつ、3年でのステップアップを目指し、持続的な企業価値向上と株主還元の両立を図る。

2026年-2028年：計画

注力分野の選択と集中や適切な価格での受注獲得を行うことで、利益の拡大を図り、ROE 8 %以上を目指す。

ROE（連結）



収益力強化

市場変化に対応し、選択と集中による戦略的な受注スタイルの継続を図る。

2023年-2024年：実績

2025年-2028年：計画

※2025年の親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想は未定としているため、ROEも未定。

健全な経営の実現に向けて、意識と内部統制の両面から持続可能な企業体制を構築する。

ガバナンスに関する目標

目指す方向

健全な企業運営を継続するために、全社員がコンプライアンス意識を高く持ち続けられる文化をさらに育む

取り組み

- ・ トップメッセージを継続的に発信する
- ・ コンプライアンス研修を継続する

社員一人ひとりの成長と働き甲斐を重視し、各取り組みを通じて社員エンゲージメントの向上と組織力の強化を目指す。

人財に関する目標



人事制度の 見直し

キャリアの見通しと成長機会を明確にし、公平で納得感のある評価へ



有給休暇 取得率の向上

メリハリのある働き方を実現し、心身のリフレッシュを図る



社員エンゲージ メントの向上

働きがいと会社への信頼感を育み、前向きに挑戦できる組織へ

中期経営計画に基づき、企業価値の向上のため業務基盤を再構築する。

DXに関する目標

業務基盤の再構築

建設業界を取り巻く環境の変化、多様化する現場業務に対応するため、基盤システムを刷新する



業務効率の向上

業務ノウハウを可視化し、自社に最適な業務フローを追求する



企業価値の向上

- 本資料は、株式会社ラックランドの中期経営計画（単体）をご理解いただくためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載内容は、作成時点における経済・社会情勢や当社の判断に基づいており、今後の環境変化等により予告なく変更される可能性があります。
- 新たな情報の発生等により内容を更新・修正する義務を負うものではなく、本資料の利用により生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、無断での引用・複製・転載等をご遠慮ください。

～IRに関するお問い合わせ～

株式会社ラックランド

<https://www.luckland.co.jp/contact/index.html>